

畑からのメッセージ

新鮮組通信 FROM おきたま

◆今日の野菜情報 (12月26日)

品目	量目	農薬散布状況
大作幸一 <small>の</small> 玉ねぎ	1袋	無
寺島一朗 <small>の</small> 大根	1本	無
吉沢重造 <small>の</small> 里いも	500g	無
高橋梅子 <small>の</small> やまいも	600g	無
富谷亜喜博 <small>の</small> 小松菜	1束	無
降矢辰秋 <small>の</small> 春菊	1束	無
えのきぼーや <small>の</small> えのき	1袋	無
大石博子 <small>の</small> わらび漬	1袋	天然
井上誠 <small>の</small> みかん	1袋	低

今日の別注品

- 青大豆 300g 300円
- 打ち豆 100g 250円
- 梅干し 300g 500円

春塩漬けしておいたものを冬の冷たい水に2日間、途中水をかえながら、塩抜きしたものをお届けしております。
 そのまま切ってしょうがじょう油で食べてもよし、細く切ったするめ、人参、わらびをしょう油、酒、みりん、砂糖少々で和えて食べてみるのもよし。後者は、本田洋子のおすすめレシピ「色どり鮮やかで」酒のつまみにも良いそうです。

◆今日の畑情報

25日のクリスマス。思いがけなくアメリカのガスさんからクリスマスプレゼントとじあたたまるお手紙が届きました。

夏の暑い時に2人で田んぼの草とりしたこと。チーム枝豆のみんなと収穫・出荷作業に追われたことなど、ガスさんと過ごした日々が思い出され、とてもなつかしく、じんとしてしまいました。

あと20年後、地球の温暖化により5月~10月が真夏になるという話を聞きました。毎年毎年違う条件の秋とでも、それも初めて直面するような状況が次々やってくるのかもしれない。それでも今と変わらずに、今よりもっと地に足をつけて、身のまわりのつながりを大事にして、農業を続けていきたいと思うその一方で、先を見れば、まわりにどれだけ農家が残っているのだろうか？急激な天候の変化についていけるのだろうか？と不安になるのも事実。ガスさんとの別れ際、「あなたの信じている農業をこれからも続けて」といわれたことを、久しぶりに思い出し、「初心忘るべからず」謙虚にひたむきに、目の前の今できることを、ガスさんにまた勇気づけられました。

▼来週の予定 (1/10)

人参、じゃがいも、大根、赤ねぎ、水菜、ちんげん菜、ごぼう 他

▼再来週の予定 (1/17)

人参、玉ねぎ、キャベツ、かぶ、根生姜、マッシュルーム 他

遠く離れたおにはともあれ、今年がこれが最終回。また来年お世話になります。それでは皆さんどうか、よいお年を……。